

2025 年 12 月 23 日

## 北米西海岸 LNG の台頭可能性

### - 優位性・課題と開発プロジェクトの近況 -

一般財団法人日本エネルギー経済研究所  
資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット  
上級スペシャリスト 橋本 裕

#### はじめに

2025 年 7 月、カナダ西海岸から本格的に LNG 輸出が開始され、今後北米西海岸がアジア太平洋地域の LNG 消費市場にとり、重要な供給源として台頭する可能性がある。

LNG Canada プロジェクトは、今般稼働開始した第 1 段階の設備が年間 1400 万トンの出荷容量を持つ。2025 年 7 月から 12 月の 6 ヶ月間に、合計 28 カーゴ、推計 200 万トン、北東アジアの 4 市場向けに出荷した。2026 年以降、堅調な立ち上がりが期待される。

本レポートは、何故今、北米西海岸からの LNG 輸出が注目されるべきか、優位性・課題を解説する。カナダ、メキシコのプロジェクト開発の近況を示す。

#### 1 北米西海岸からの LNG 優位性と課題

##### 1.1 地理的優位性

1.1.1 アジア太平洋市場に向けて LNG を輸出するために、距離が米国ガルフ地方からの供給に比して大幅に短縮される。カナダのブリティッシュコロンビア州からの出荷の場合、2025 年後半の実績で、日本向け最短 11 日間、韓国向け最短 12 日間で到達している。米国ガルフから北東アジアへの LNG 輸送では、パナマ運河経由で 30 日、アフリカ南端廻りで 40 日以上を要している。

1.1.2 北米西海岸からの輸送では、パナマ運河のようなチョークポイントを通航する必要もない。

##### 1.2 供給源多様化

1.2.1 豪州などオセアニア、東南アジア、中東、アフリカ、北米東海岸に加え、特にカナダやメキシコなど、供給源を多様化できる。ロシアのサハリンからの LNG 供給が不確実性を抱える中で、供給源を多様化することが重要。

##### 1.3 アジア諸国間の協力可能性

1.3.1 北米西海岸の LNG プロジェクト開発では、エネルギー供給セキュリティを重視するアジア諸国の企業・政府間で協力できる。実際、LNG Canada プロジェクトには、日本、韓国、中国、マレーシアの企業が参画して、それぞれの国の LNG 供給セキュリティに貢献している。

##### 1.4 米国西部生産諸州など北米の天然ガス余力活用、経済効果

1.4.1 米国ガルフ地域の大型 LNG 輸出設備の拠点となっているテキサス州・ルイジアナ州あるいはその周辺のガス生産諸州で、LNG 輸出設備にガスを供給することにより、国際市場の相対的に高価格を活かして、ガス生産の経済的

利益が拡大している。テキサス州・ルイジアナ州は、**2024** 年時点で米国ガス生産の **35%**を占めた。

**1.4.2** 米国西部でガス生産量が多いロッキー山脈地域周辺のワイオミング州、ユタ州、コロラド州、ニューメキシコ州は、**4** 州合計で米国ガス生産の **15%**程度を占めるが、相対的に国際市場と連結する旨味を享受していない。メキシコ太平洋岸北部に **LNG** 輸出設備が実現すれば、これを通じて米国産天然ガスの国際市場へのアクセスが拡大して、ガス生産諸州に経済的利益がもたらされ、生産・開発活動がさらに活発化する可能性が高い。

**1.4.3** カナダ西部のガス資源も国際市場へのアクセスの便益を受ける。

## **1.5 推進上の諸課題**

**1.5.1** 市況サイクル変動の中での需要の確保が重要である。**2025** 年は世界の **LNG** 貿易が堅調に増加する一方でアジア **LNG** 輸入量が減少となる見通し。**11** 月までの輸入量は、世界全体で推計前年同期比 **4%**増加に対して、アジアは同 **5%**減となっている。市場との対話促進を通じて、安定的な引き取り手を確保することが開発推進のカギとなる。

**1.5.2** **LNG** 設備に加え、原料ガス輸送パイプラインを含むインフラストラクチャー開発のための許認可確保・地域合意確保・環境リスクの回避が重要となる。労働力、エンジニアリング・建設生産性の確保、投資決定後のタイムリーな建設完了・遅延の回避が重要となる。

## **2 カナダ太平洋岸のプロジェクトの近況**

**2.1 LNG Canada:** 7 月の出荷開始後、輸出設備の立ち上がりが続いている。さらにフェーズ 2 検討も動き出している。

**2.2 Cedar LNG:** **2024** 年 6 月に投資決定済み。**2025** 年には建設推進とともに、**LNG** 引き取りのターム契約確保も進めた。**2028** 年末の商業運転目標としている。

**2.3 Woodfibre LNG:** **2025** 年は、建設が半ばまで進展、**2027** 年稼働予定としている。

**2.4 Ksi Lisims LNG:** **2025** 年は、環境手続き面、政府支援確保の面に加え、販売面も前進しており、近く建設開始見込みとしている。

## **3 メキシコ太平洋岸のプロジェクトの近況**

**3.1 ECA LNG (Energía Costa Azul):** **2026** 年早期に商業運転開始見込み。**TotalEnergies** ・三井物産向けの **20** 年間の販売取引を確保している。**ECA LNG Phase 2**、および別地点での **Vista Pacifico LNG** が検討されている。

**3.2 Saguaro Energía:** 複数の信頼性高い引き取りのコミットメントを確保して、投資決定の準備中としており、輸出開始期限の延長を米エネルギー省に申請している。

**3.3 Amigo LNG:** **2026** 年第 1 四半期の投資決定を目指し、輸出開始期限の延長を米エネルギー省に申請している。

問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)

## 付表

### 1 LNG Canada による LNG 出荷カーゴ数（輸入国別）

|         | 日本 | 韓国 | 中国 | 台湾 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|
| 2025/07 | 1  | 1  |    |    | 2  |
| 2025/08 |    | 1  | 1  |    | 2  |
| 2025/09 |    | 4  | 1  | 1  | 6  |
| 2025/10 | 2  | 1  | 1  | 2  | 6  |
| 2025/11 | 4  | 1  | 1  | 1  | 7  |
| 2025/12 | 1  | 2  | 2  |    | 5  |

### 2 カナダ産 LNG 輸入価格（輸入国別）（米ドル/100 万 Btu）

|         | 日本   | 韓国    | 中国    | 台湾    |
|---------|------|-------|-------|-------|
| 2025/07 | 9.31 | 11.22 |       |       |
| 2025/08 |      | 10.64 | 13.12 |       |
| 2025/09 |      | 10.95 | 11.91 | 9.97  |
| 2025/10 | 9.59 | 12.49 | 11.38 | 11.68 |
| 2025/11 | 未詳   | 9.12  | 10.86 | 10.92 |

（出所）各国貿易統計より、算出

（註）緑色カラム数値は、当該国の LNG 輸入全体平均価格を下回っているケース